

早瀬 麻観子

私は、2014年10月の専門看護師認定審査に合格し、母性専門看護師の資格を得ました。現在は地域周産期母子医療センターのスタッフとして主にハイリスクの母親を対象に看護実践を行っています。

ハイリスクの母親に治療のため制限された生活の中であっても「自分らしい妊娠・出産・育児」をしてほしいと思いがあり、そのような私なりの「看護」をしたいと思っていました。しかし、自分のしたい「看護」を行うためには、病棟のスタッフ、医師、MSW、保健師などの関連職種の協力を得ることが不可欠であることに気づき、本学の看護学研究科臨床実践看護学母性専門看護師コースにて学ぶこととしました。本学で、専門看護師の6つの機能である、実践・相談・研究・教育・調整・倫理調整を学び、母親の取り巻く環境を考えながら他職種の協力を得て、必要な「看護」を行うことができるようになりました。

